

■欧州：欧州委員会、エネルギー安全保障のための包括的戦略を発表

欧州委員会は 2014 年 5 月 28 日、エネルギー安全保障のための包括的戦略” European Energy Security Strategy” を発表した。EU 域内ではウクライナ情勢に端を発して、域内のエネルギー安全保障、ロシアへのエネルギーの輸入依存の問題が重要な論点となっている。欧州委員会が提出した本戦略は 2014 年 6 月 26～27 日に開催される EU 首脳会議で審議される予定である。この戦略の主眼点として、域外からのエネルギー供給の多角化、エネルギーインフラの強化、域内エネルギー市場の統合、エネルギー効率化の推進が挙げられている。さらに具体的な方策として、EU 加盟国間の連携強化を図り、域内のガスパイプラインや LNG 受け入れ基地の建設などを強化する他、中期的にはカスピ海沿岸地域からのガスパイプライン建設も視野に入れている。また欧州委員会は、次の冬にガスの供給が停止した場合のリスク評価（ストレステスト）の実施も提案しており、緊急時のガス備蓄や代替燃料がどの程度確保されているかの確認が目的としている。エッティンガー・エネルギー担当委員は本戦略の主眼点を強調するとともに、「我々は EU 域外からのエネルギー供給（特にガス）の多角化をもっと進める必要があり、具体的な行動を起こすしかない」と述べている。